

特別企画展



ムルヤナ《海の記憶》2021年 ©Cheongju Craft Biennale, Korea

水のアジア アジアギャラリー

4月8日(金)～7月10日(日)

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会を記念した展覧会。水にまつわる神話にヒントを得た作品、豊かな命を育む自然の生態系を描いた作品、水に様々な社会問題を映した作品、作家それぞれの記憶にある水を表した作品など、約30点を紹介します。また世界水泳の開会式が行われる会場の芝生広場に、風の吹き抜ける魚のベンチを置き、人びとに憩いの場を提供します。

おいでよ！ 企画ギャラリー
絵本ミュージアム2022

7月19日(火)～8月28日(日)

子どもたちの感性や想像力・創造力を育むために、五感に働きかける様々な仕掛けで、絵本の世界に入り込めるような空間をプロデュースする展覧会です。16回目となる今年も、約1000冊の絵本と原画の展示や様々なイベントを通して、子どもならではの感性の大切さを伝えます。



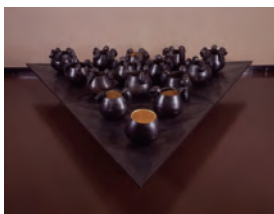
参考：過去の展示風景

コレクション展

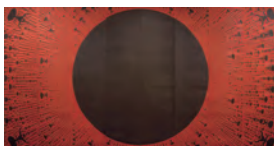
○△□

I：7月16日(土)～10月4日(火)、
II：10月6日(木)～12月25日(日)

丸、三角、四角といった、シンプルな形をつかった現代美術作品を紹介します。



モンティエン・ブンマー《喜捨》
1992年(撮影：藤本健八)



リュウ・ジョンジョン(呂勝中)
《○の魚形》1991年

不安の時代

2000年代のビデオアート

I：7月16日(土)～10月4日(火)、
II：10月6日(木)～12月25日(日)

2000年代のアジアにおけるビデオアートの傑作を紹介します。



ブー・ホァ(卜樺)《はびこる野蠻》2008年



ディン・キュー・レ《南シナ海ビジュクン》2009年

「私」から問う

多様化するアジアの現代写真

令和5年1月2日(月)～3月21日(火)

写真作品が盛んに制作され始めた1980年代以降の、作者自身を写した作品を紹介します。



ワン・ジュンジェ《万里の長城》1997年



アマンダ・ヘン《発展・もうひとりの女#4》1998年

あじびでGO GO! 乗り物大集合

7月16日(土)~9月20日(火)

夏休み企画として、様々な乗り物が描かれた絵画や写真などを紹介します。働き者のショベルカーから空飛ぶロケット、宮廷にみられる華麗なるブランコ、アジアの神様たちが乗る空想上の生き物まで、いつもとちょっと違ったアートな乗り物を発見しましょう。



左：ルオ三兄弟《我、北京天安門を愛す#24》1996-97年
右：作者不詳《マトゥラーヘ向かうクリシュナ》20世紀前半



旅立ちのとき

令和5年1月2日(月)~3月21日(火)

受験や卒業を経て新たな生活へと旅立つ季節にあわせ、卒業や旅立ち、学び舎や師弟の絆をテーマにした作品を紹介します。ミャンマーで大切に居間に飾られる習慣のある卒業写真への思いを込めた作品や、タイを離れ日本で学んだ作家が桜咲き誇る春の学び舎を描いた作品など、人生の折々に寄り添うような作品を見つめながら、あなた自身の大切な思い出を振り返ってみましょう。



左：チト・プアブット《上野公園、東京美術学校》1942年
右：ランプー・カンサノウ《胴上げ》2008年

あじびコレクションX

制作年・場所・主題・技法・作者などの共通項から2-3点の作品を選び出し、対比することによって、それぞれの作品世界を紐解くコーナー展示です。

日本作家が描いた〈朝鮮〉

I：7月16日(土)~10月4日(火)



矢崎千代二《京城》1940年

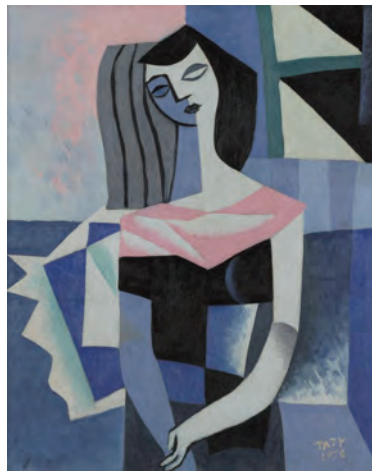


松田黎光《妓生の家》1940年

ベトナム・モダンの写し鏡

タ・ティの作品世界

II：10月6日(木)~12月25日(日)



タ・ティ《女》1950年



タ・ティ《曲線》1960年

POSTWAR / 戦後

令和5年1月2日(月)~3月21日(火)



リー・ダラプー《伝令》2000 / 2005年



グエン・チン・ティ《風景シリーズ#1》2013-14年